



- ◆ [化学同窓会新年懇話会に鈴木名誉教授出席](#)
- ◆ [学会賞等の受賞について \(2011.10.2～2012.1.1\)](#)
- ◆ [国際会議・シンポジウム等の開催 \(2011.10.2～2012.1.1\)](#)
- ◆ [外国人研究者等受入状況 \(2011.10.2～2012.1.1\)](#)
- ◆ [海外からの来訪者\(短期滞在\) \(2011.10.2～2012.1.1\)](#)
- ◆ [学位授与 平成23年12月26日付け学位授与者](#)
- ◆ [人事異動〈正規職員・非正規職員〉 \(平成23年10月2日～平成24年1月1日\)](#)

◆ 化学同窓会新年懇話会に鈴木名誉教授出席

【化学部門】

平成24年1月12日に理学部化学科講堂にて化学同窓会新年談話会を開催しました。

特別ゲストとして鈴木章先生にご参加いただき、同窓生や化学科学生・教員の前でリラックスした雰囲気の中、20分ほどお話をいただきました。

その後、学生企画で鈴木章先生をパネラーとしてお迎えし、化学科・化学専攻・総合化学専攻の現役の学生6名が加わってパネルディスカッションを行い、鈴木先生のノーベル賞受賞で感じたこと、化学は社会にどのように貢献すべきか、の二点をテーマに議論を交わしました。

最後は化学科4年生から鈴木章先生への花束贈呈で幕を閉じました。

(写真は表紙をご覧ください)

◆ 学会賞等の受賞について

期間：2011年10月2日～2012年1月1日

【化学部門】

○第2回日本学術振興会 育志賞

平成24年1月17日、独立行政法人日本学術振興会より第2回日本学術振興会 育志賞の発表があり、化学専攻博士後期課程3年 伊藤 英人さんの第2回日本学術振興会 育志賞受賞が決定しました。

詳細は下記のとおりです。

研究課題：遷移金属-トリエチニルホスフィン錯体による特異反応場の形成と触媒反応への応用

日本学術振興会「育志賞」は、天皇陛下御即位20年に当たり、若手研究者を支援・奨励するための事業の資として、日本学術振興会が陛下から御下賜金を賜ったことを受け、将来、我が国の学術研究の発展に寄与することが期待される優秀な大学院博士後期課程学生を顕彰することで、その勉学及び研究意欲を高め、若手研究者の養成を図ることを目的に平成22年度に創設されたものです。

全国の大学院博士後期課程の学生を対象に人社系、理工系、生物系の各分野から合計17名に授与されました。

授賞式は3月1日(木)に、日本学士院(東京都)において行われます。

日本学術振興会 育志賞 <http://www.jsps.go.jp/j-ikushi-prize/index.html>
<<http://www.jsps.go.jp/j-ikushi-prize/index.html>>

受賞者名	伊藤 英人(D3)
学会賞等名	育志賞
授与団体名	日本学術振興会
受賞年月日	2012.3.1
受賞功績 (受賞論文等名)	遷移金属-トリエチニルホスフィン錯体による特異反応場の形成と触媒反応への応用

受賞者名	澤村 正也
学会賞等名	学術賞
授与団体名	日本化学会
受賞年月日	2012/3/26
受賞功績 (受賞論文等名)	配位平衡と反応空間の高度制御に基づく遷移金属錯体触媒の設計

受賞者名	大宮 寛久
学会賞等名	奨励賞
授与団体名	日本化学会北海道支部
受賞年月日	2012/2/1
受賞功績 (受賞論文等名)	位置および立体制御された遷移金属触媒アリル化反応の開発

【自然科学部門】

受賞者名	安田 貴俊(自然科学専攻 修士課程2年)
学会賞等名	学生による講演会優秀発表
授与団体名	日本測地学会
受賞年月日	2011年10月28日
受賞功績 (受賞論文等名)	SARによるチベット北西部、西クンルン山脈における氷河サージの検出

受賞者名	小松 大祐(学術研究員)
学会賞等名	地球化学研究協会奨励賞
授与団体名	地球化学研究協会
受賞年月日	2011年12月3日
受賞功績 (受賞論文等名)	高感度同位体定量手法を用いた大気微量成分の挙動・起源に関する研究

◆ 国際会議・シンポジウム等の開催

期間：2011年10月2日～2012年1月1日

【化学部門】

○ 「第7回 先端化学に関する北海道大学－南京大学交流シンポジウム」

化学部門では、本研究科と中国南京大学化学化工学院との間で締結された「友好学術交流協定」を受け、2005年より南京大学と隔年で場所を替えながら先端化学に関する交流シンポジウムを開催しています。本年度は、蘇州大学において11/10-11/12の日程で「第7回先端化学に関する北海道大学-南京大学交流シンポジウム」ならびに「2011年南京大学-蘇州大学-北海道大学-NIMS/MANA交流シンポジウム」を開催しました。オープニングでは、南京大のXinghua Xia教授、蘇州大のJianping Lang教授、本学の武次徹也教授が挨拶に立ち、北大では2010年度より総合化学院を設置したことや、鈴木章先生がノーベル化学賞を受賞されたことにより学生のモチベーションが大いに上がっていることなどが紹介されました。シンポジウムでは、化学部門教授6名、NIMS/MANA研究員2名、南京大教授4名、安徽師範大教授12名による6件の特別講演、18件の招待講演が行われ、活発な討論が繰り広げられました。北大から参加した大学院生8名はポスターセッション(発表件数26件)で発表を行いました。講演においても積極的に質問し、中国の研究者、学生とも短期間のうちに交流を深めました。懇親会は終始和やかな雰囲気で行われ、「乾杯」を繰り返しながら大いに親交を深めました。

次年度は、第8回北海道大学－南京大学交流シンポジウムを北大で開催することを約束し、会を閉じました。



【原子核反応データベース研究開発センター】

○ 「Asian Nuclear Data Workshop 2011」

会議等名	Asian Nuclear Data Workshop 2011
主催団体名	原子核反応データベース研究開発センター
開催期間	2011年11月10日～12日
開催地(会場)	ファカルティハウス「エンレイソウ」
出席人数	20名

外国人研究者等受入状況

期間：2011年10月2日～2012年1月1日

【受入部門名：自然史科学部門】

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名等・氏名)	目的 【経費等・受入教員】
2011.10.03 -2011.12.03	台湾：中央研究院地球科学研究所 副研究員 Georg F. Zellmer	研究打合せ 【私費・塚本 尚義】

【受入部門名：地震火山研究観測センター】

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 【経費等・受入教員】
2011.11.01 -2012.01.31	ロシア：ロシア科学アカデミー・極東支 部カムチャッカ火山地震研究所 主任研究員 Tatiana Pinegina	カムチャッカ・千島・北海道沈み込み帯におけ る古地震・古津波研究 【北海道大学・茂木 透】

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 【経費等・受入教員】
2011.11.04 -2011.11.03	アメリカ：ワシントン大学 講師 Breanyn MacInness	不均質なすべり量分布の効果を評価して近地の 津波をより良く予測するための研究 【日本学術振興会事業・谷岡 勇市郎】

海外からの来訪者(短期滞在)

期間：2011年10月2日～2012年1月2日

【受入部門名：数学】

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 (受入教員)
2011.10.03 -2012.03.31	Russia : St. Petersburg University Rector Oleg Demchenko	研究打合せ (中村 郁)
2011.11.08 -2011.11.13	Italy : Università di Padova PD Luca Prelli	研究打合せ (本多尚文)
2011.11.21 -2011.11.24	Italy : Scuola Superiore Sant'Anna Research Fellow Simona Settepanella	研究打合せ (寺尾宏明)
2011.11.21 -2011.11.24	中国: Northeast Normal University DC 高瑞梅	研究打合せ (寺尾宏明)
2011.12.05 -2011.12.06	USA : UCLA PD Roy Tristan	研究打合せ (高岡秀夫)
2011.12.05 -2011.12.08	USA : University of Maryland An Emeritus Prof. James A. Yorke	研究打合せ (由利美智子)
2011.12.06 -2011.12.09	USA : University of South Carolina An Emeritus Prof. Manfred Stoll	研究打合せ (相川弘明)

【受入部門名：化学】

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 (受入教員)
2011.10.03 -2011.10.14	フランス：ストラスブルグ大学 教授 Mir Wais Hosseini	ストラスブルグ大学との協 定に基づく研究者の交換訪 問 (加藤昌子)
2011.10.10 -2011.10.16	ポーランド：Jagiellonian University 教授 Marek Wojcik	共同研究、セミナー出席 (武次徹也)

【受入部門名：自然史科学】

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 (受入教員)
2011.11.19 -2011.11.22	オーストラリア：オーストラリア国立大学 教授 Trevor R. Ireland	研究打合せ (坂本尚義)

【受入部門名：地震火山研究観測センター】

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 (受入教員)
2011.10.30 -2011.11.06	ロシア：科学アカデミー火山地震研究所 所長 Evgeny Gordeev	研究打合せ (高橋浩晃)
2011.10.30 -2011.11.06	ロシア：科学アカデミー火山地震研究所 副所長 Yaroslav Muravyev	研究打合せ (高橋浩晃)
2011.10.30 -2011.11.06	ロシア：科学アカデミー火山地震研究所 研究員 Natalia Malik	研究打合せ (高橋浩晃)
2011.10.30 -2011.11.06	ロシア：科学アカデミー地球物理調査所 技術研究員 Sergey Serovetnikov	研究打合せ (高橋浩晃)

【受入部門名：原子核反応データベース研究開発センター】

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 (受入教員)
2011.11.10 -2011.11.11	韓国：Kyungpook National University 教授 Guinyun KIM	国際ワークショップへの参加 (合川正幸)
2011.11.10 -2011.11.12	韓国：Korea Atomic Energy Research Institute 教授 Young-Ouk LEE	国際ワークショップへの参加 (合川正幸)
2011.11.10 -2011.11.12	カザフスタン：Kazakh National Pedagogical University 教授 Nurgali TAKIBAYEV	国際ワークショップへの参加 (合川正幸)
2011.11.10 -2011.11.13	インド：Ex-Bhabha Atomic Research Center 博士 Srinivasan GANESAN	国際ワークショップへの参 加・議論 (合川正幸)

学位授与

平成23年12月26日付け学位授与者

【課程博士】(理学院 2名)

Fatemeh SAFARI (化学専攻)

Regulation of Src family kinases by Pragmin via the EPIYA tyrosine-phosphorylation motif, which is utilized by bacterial effectors
(細菌エフェクターが模倣する EPIYA チロシンリン酸化モチーフを介した Pragmin による Src ファミリーキナーゼの制御)

主査 教授 坂口 和靖

元木 業人 (宇宙理学専攻)

Observational Study of High Mass Star Formation with Very Long Baseline Interferometer
(超長基線干渉計を用いた大質量星形成についての観測的研究)

主査 特任教授 藤本 正行

【論文博士】(理学研究科 1名)

保田 悠紀 (地球惑星科学専攻)

Formation of SiC and Carbon Grains in Dust-Driven Wind around Pulsating Carbon-Rich Asymptotic Giant Branch Stars
(脈動する炭素に富む漸近巨星分枝星の周縁部で固体微粒子により駆動される星風中での炭化ケイ素と炭素微粒子の形成)

主査 教授 小笹 隆司

人事異動

対象期間：平成23年10月2日～平成24年1月1日

<正規職員>

平成23年11月1日付け発令

(採用)

化学部門有機・生命化学分野 助教 (北陸先端科学技術大学院大学 助教から)	上遠野 亮
--	-------

平成24年1月1日付け発令

(採用)

物理学部門非線形物理学分野 准教授 (創成研究機構 特任助教から)	木村 真明
--------------------------------------	-------

物理学部門凝縮系物理学分野 准教授 (創成研究機構 特任助教から)	柳澤 達也
--------------------------------------	-------

外部資金担当 (新規採用)	清野 友香理
------------------	--------

教務担当 (新規採用)	大橋 史緒吏
----------------	--------

(昇任)

自然史科学部門地球惑星ダイナミクス分野 教授 (同分野准教授から)	古屋 正人
--------------------------------------	-------

(配置換)

大学院教育担当係長 (教務担当係長から)	宮谷内 洋
-------------------------	-------

<非常勤職員>

(採用, 配置換)

H23.11.1 数学部門	特任助教	中村 健太郎
H23.11.1 生物科学部門	技術補助員	増田 ゆかり

H23.11.2	地震火山研究観測センター	特任准教授	Pinegina Tatiana
H23.12.1	数学部門	博士研究員	室崎 喬之
		(先端生命科学研究院より)	
H23.12.1	生物科学部門	特任准教授	Fortunato Martins Maria Helena
H23.12.5	数学部門	学術研究員	福永 知則
H24.1.1	化学部門	技術補助員	栄花 真理
H24.1.1	物理学部門	学術研究員	山田 志真子
H24.1.1	生物科学部門	学術研究員	香川 紘子
		(技術補佐員より)	
H24.1.1	理学・生命科学事務部事務課	事務補佐員	牧田 静香
		(産学連携事務室より)	

[<< Back to TOP](#)